

【女性リーダー養成セミナー】カリキュラムのねらいと構成

1 日本の課題を考える(政策課題討議)

来るべき少子高齢化社会を安心して暮らせるようにするには、どのような課題があり、それをどう解決すればいいのか。「働き方改革」をテーマに、現在の働き方についての課題を踏まえ、一人ひとりが可能な限り、自らの能力とニーズに合った働き方が出来る施策、量的・質的な人材不足に対応していくための人事施策、仕事改革について、事前に自分の考えをまとめて持ち寄り、グループ討議、意見交換を通じて考える。(講義 2.0 時間 グループ討議 2.5 時間 全体討議 2.0 時間)

2 女性リーダーとしての行動

- 女性リーダーのマネジメント(講義 1.5 時間)——経験と対話による人材育成について考える。
- 「レジリエンス・ビルディング」(講義と演習 2 時間)——セルフコントロールを身につけ、困難な状況における問題解決能力を高め、変化への対応力を強化する。

3 自分自身のリーダーシップを考える(前半)～信頼の醸成～ (講義と演習 2 時間)

- リーダーシップとは
- リーダーシップと信頼関係
～リーダーシップ発揮の「土壌」を作ることの大切さを学習する～
時代の変化や人々の要請に応じていくには、それぞれのポジションで、自分自身がリーダーシップを発揮していくことが必要だという、基本的な認識と覚悟を持つ。

4 自分自身のリーダーシップを考える(後半) ～つながり力を高める～

- リーダーシップとコミュニケーション(講義と演習 2.5 時間)
指導・育成・モチベーション向上を生み出すコミュニケーションのあり方について理解する。
- ケーススタディ(ワークショップ 2.5 時間)
この職場がなぜ高いつながり力を持ち、高い成果を生み出すのかについて考える。
- リード・ザ・セルフ&自分のコミットメント(講義と演習 2 時間)
組織の中での自分自身の行動で組織の活性化、意識変革が可能になる、自分自身が変わらなければ、組織も変わらないということに気づく。
自分が考え、これから行動していこうと思うことをシートにまとめて、発表する。